

環境問題対策の見える化 Visualization of Environmental Problem Measures

森川祥瑛
教員氏名 西野 隆司

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 価値創造研究室

キーワード：SDGs, 環境問題, 消費

1. 研究の動機と目的

私の研究目的は、環境対策の見える化である。これからの人類にとって環境への対策がますます重要になってくる。なぜなら私 たち人類が生き残っていく上で、環境への配慮が必須になる。しかし、私たち個人にとって政府や企業が行う環境対策は遠いことのように感じる。そこで、環境対策の見える化を行うことにより、人々に環境対策を身近に感じてもらうことができる。

2. 調査内容

①地球で起きている環境問題

関西電力グループによると環境問題は主に7つあり、人間が排出した物質によって海洋環境が汚染されてしまう海洋汚染、先進国を中心に、化学塩素原子を放出して起こるオゾン層の破壊、乱獲や自然開発などの影響から起きる生物多様性の減少、鉱物資源やその他資源の減少、土地や木材の確保を目的とした、伐物質や有害廃棄物を途上国に放置するなどの国境を越えた移動がもたらした化学物質・有害廃棄物の越境、冷蔵庫の冷媒などに使用されていた物質が大気中に拡散されると光分解されることで塩素原子を放出して起こるオゾン層の破壊、乱獲や自然開発などの影響から起きる生物多様性の減少、鉱物資源やその他資源の減少、土地や木材の確保を目的とした伐採によりもたらされる森林破壊・砂漠化、人為的起源の酸性物質を空气中で取り込み生まれる酸性雨がある。

②主な環境対策

化学物質・有害廃棄物の越境には、有害な廃棄物の国境を越える移動を規制する「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約」が締結され、温室効果ガスに起因する温暖化は、国連において「気候変動枠組み条約」が定められ、「COP」と呼ばれる締約国会議で対策が議論されている。

③環境対策への認識

環境問題に対して政府や企業がいかなる政策を打ち出しているのか、認知している人がどれほどいるのか気になった。

■環境問題についての関心<年代別>

◆全年代の75.5%の方が「とても関心がある」「関心がある」と回答した (%)

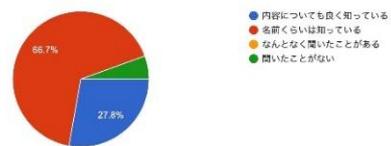
	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
とても関心がある	75.5	13.9	12.1	10.9	13.5	13.4	15.0
関心がある	61.6	59.5	47.4	69.5	74.2	82.1	75.1
あまり関心がない	24.5	21.1	33.7	25.9	22.4	19.2	16.0
全く関心がない	3.4	40.5	30.5	4.6	25.8	21.9	24.9
					3.5	2.7	1.9
							4.7

◆～20代では59.5%、30代では69.5%が「とても関心がある」「関心がある」と回答した

表1: 環境問題の関心について

ニッセイのアンケート(表1)によれば環境問題に関心がある人は全年代を通して7割いることがわかった。ただ、実際にどういった環境対策が取られているか認知している人がいるかのデータがなかったため、環境対策への認識に関するアンケートを取った。SDGsを知っている人と答えた人は、全体の九割存在し、

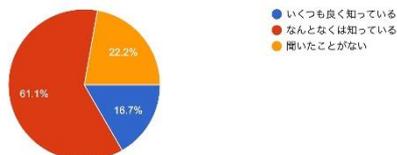
あなたはSDGsについて知っていますか



グラフ1: SDGsについて

カーボンニュートラルを知っていると答えた人は、全体の八割弱で、国や企業が取り組んでいる環境対策について知っている人は全体の八割弱だった。

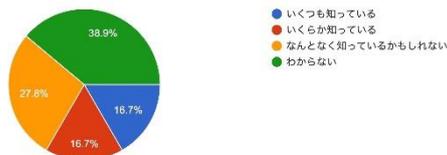
あなたは国や企業が取り組んでいる環境対策について知っていますか



グラフ2: 取り組みについて

その中で知っていると答えた人の中で環境対策がどれほど実現し、成果を出しているか認知している人は三割いた。

前ページの環境対策がどれほど実現し、成果を出しているか認知していますか



グラフ3: 認知できているか

3. コンセプトおよびアイデア展開

人々に環境対策を身近に感じてもらうため、環境政策を見える化する。そのためにインフォグラフィックスを用いる。インフォグラフィックスとは、情報を分かりやすく、人に伝わるかたちに可視化した物で、何ページにもなる文章、莫大なデータやグラフをビジュアルで結びつけるのに適したものだ。これを活用することで漠然とした物のように思えてしまう環境対策を身近なものと比較したりして、環境対策の成果をわかるようにした上で政府や企業が行う環境対策を落とし込めるようにする。

4. 今後の展開

インフォグラフィックスを制作するにあたり取り組むべきことは2つあり、1つ目は、インフォグラフィックスを制作するために官公庁や企業・団体が取り組んでいる分かりづらい環境

対策を中心に公開情報から探す。

2つ目は、インフォグラフィックスと同じく情報の伝達を円滑にする物であり、密接に関わるため切り離せないピクトグラムを制作する。

5. 参考文献

- ・たのしいインフォグラフィック入門 著者 櫻田潤 ビー・エヌ・エヌ新社
- ・環境問題とは？7つの種類やサステナブル、SDGsとの関係も紹介
https://media.kepco.co.jp/_ct/17546322
(参照 2023 10月12日 14 : 57)
- ・ニッセイ インターネットアンケート~環境問題について~
<https://www.nissay.co.jp/news/2021/pdf/20211015b.pdf> (参照 2023 10月12日 17 : 43)